【平成27年度版】

福井 Fukui

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道～

若狭は、古代から「御食国」として都や地産物など重要な食材を都に運び、都の食文化を支えてきました。また、大陸からつながる海の道と都へとつながる陸の道が複数する最大の拠点となった地です。古代から続く歴史の中で、新鮮な魚がいち早く、城下町、宿場町が栄え、また往来にはものたちだされた郷土、芸能、仏教文化が新道近くから最強的にまで広く伝播し、独自の発展を遂げました。「鯖街道」と呼ばれるこの新道開始にには、住民の絶えない伝える町並みとともに豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいています。

若狭街道 ～御食国若狭の要点と鯖街道のメインルート～

1 上中古墳群（かみなかこふんぐん）
若狭最大の集団と考察墓墳が集まる古墳群。若狭湾最奥の地に位置し、古墳時代から若狭の中心地であったことを示す重要な遺跡。

2 青井峠 古道跡（あおいとうげこどうあと）
奈良時代、若狭と都を結ぶ主要の峠越道として、平城京跡出土木簡にも、都から若狭へ荷物を運ぶ際に通ったと記されている。

3 熊街道（熊鰐街道）
若狭と京都をつなぐ最短ルートの一つ。いわゆる「鯖街道」の一つ。

4 針畑（はりはた）峠
若狭と京都をつなぐ最短ルートの一つ。

5 二ノ区大谷石やぐら、大谷石やぐら古墳
中世後期墓地として知られる京都府内の鎌倉墓地。

6 石畳（ひろいわの滝）
京都市内の名勝として知られる滝。

7 小浜神社（おばまじんじゃ）
小浜市街地の南東部に鎮座。

8 小浜市立郷土歴史館（おばましりつきょうどれきしかん）
若狭と京都をつなぐ最短ルートの一つ。

9 若狭の城跡（わかさのしろあと）と伝承館
大永二年（1522）、戦国武将武田元光が築城。

10 日吉円通寺跡・庭園
近世、小浜の藩政発展とともに栄えた菩提寺。

針畑（はりはた）越え ～若さの鯖街道の歴史的景観～

17 針畑道（針畑越え）
京都市から若狭小浜にいたる街道。

18 上根来（かみねごり）集落
北近江と若狭の交流拠点。

19 朽木（くつき）の町並み
朽木家は慶長5年（1600）、関ヶ原の戦功により、若狭から朽木谷へ移封。

鯖街道の始点 ～京町・小浜～

7 小浜神社（おばまじんじゃ）
小浜市街地南東部に鎮座。

8 小浜市立郷土歴史館（おばましりつきょうどれきしかん）
若狭と京都をつなぐ最短ルートの一つ。

9 若狭の城跡（わかさのしろあと）と伝承館
大永二年（1522）、戦国武将武田元光が築城。

10 日吉円通寺跡・庭園
近世、小浜の藩政発展とともに栄えた菩提寺。

鯖街道の終点 ～京町・祇園～

11 世界及び日本国八角堂跡
後白河院、崇徳上皇の御所。

12 小浜の祇園祭礼祭
江戸時代、京都・祇園祭を小浜へ移して行われた祭礼。

12 和久（わく）里千年荘園（せんねんしょうえん）跡
小浜湾下船の荘園遺跡。

13 若狭国一宮 若狭彦神社・若狭姫神社
若狭国一宮。

14 若狭井（わかさのい）
若狭一宮の神事。

15 若狭神宮寺（わかさじんぐうじ）
若狭一宮の神宮寺。

16 木地師（きじし）
若狭小浜の鯖街道沿いに木地師集落。

若狭の道々に息づく ～昔の祭り・芸能や守り伝える風習～

22 若狭の王の祭り（わかさのおうのまつり）
若狭一宮の神事。

23 若狭のご当金山（わかさのごとうざん）
若狭一宮の神事。

24 地蔵盆
若狭の各地で行われる地蔵盆の風習。

25 盆上げ
若狭一宮の神事。

26 若狭民俗芸能の神事群
若狭一宮の神事。

27 三方五湖
若狭一宮の神事。

28 へしこ、名ずてしの製作技法
へしこ作りの風習。

若狭の文化財

20 お水送り
若狭一宮の神事。

21 若狭（わかさ）のお水送り行事と若狭（わかさ）井
若狭一宮の神事。

若狭湾

日本海

京都 Kyoto

日本茶800年の歴史散歩

お茶の中国伝来から約800年間、京都府南部山城地域は、茶道に代表される喫茶文化を生産・発展からリードし、発展させてきました。茶の湯に使用される「抹茶」や日伝（飲まれている「煎茶」）最級茶として世界的に知られる「玉露」など、生産技術を向上させながら、多種多様なお茶を作り続けてきたのです。独特で美しい茶畑・茶問屋から茶まつりまで、歴史文化と景観を現代までよく継承している地域です。

◆宇治茶のはじまり（鎌倉時代）

1 栄西（えいさい）禅師が"茶の祖師"明恵（みょうえ）上人に贈った茶の木
宇治の茶人が茶の木の植え方から茶の手入れまで、すべてを上人に教えました。

◆宇治茶の確立と初期の景観（室町時代～織豊時代～江戸時代初期）

2 「茶ノ山」の景観
室町時代に将軍足利義教（よしのり）が宇治茶の栽培を奨励したことから、宇治茶の名声は高まりました。

3 仏徳山（ぶっとくざん）風景
室町時代には茶園の一つとして知られた「茶ノ山」。

4 茶師（ちゃし）屋敷
室町時代の七名家の一つ「茶ノ山」。

5 白川（しらかわ）茶の景観
白川地区は、東福寺による茶下不輸地区。

6 中宇治（なかうじ）の茶畑
上林家屋敷などの茶園、東福寺による茶下不輸地区。

7 平等院（びょうどういん）
平等院は、藤原頼通の別荘として、建立された寺院。

8 宇治橋
645年架橋の日本三橋（ほか、瀬田の唐橋、山崎の橋）の一つ。

9 通圓茶屋
宇治橋東詰にて1160年創業の茶店で現存。

◆茶業、玉露の誕生と新しい景観・茶業（江戸時代後期～中期）

10 黄檗山萬福寺
1654年に中国・明から渡来した僧侶隠元が開宗した黄檗宗の総本山。

11 奈良（ならまち）町（ちょう）の景観
江戸時代、奈良町は、奈良晒の生産地として栄えました。

12 奈良晒（ならざらし）生業
1640年代、奈良晒の原料を開発（1720年）。

13 奈良晒の製造、染織業、問屋の町並み
奈良晒の生産から流通までを一手に担った問屋。

14 晒場（さらしば）跡
奈良晒の生産工程の一つ。

15 元興寺（がんごうじ）
奈良時代の七大寺の一つ。

16 東大寺（とうだいじ）
奈良時代の七大寺の一つ。

◆茶業、玉露の誕生と新しい景観・玉露（江戸時代後期）

16 茶の湯（煎茶・玉露）の発祥（ルーツ）の「地」
「宇治は茶の湯（煎茶）発祥の地」と言われるようになったのは、永谷宗円（1681～1778）が、1738年に宇治田原郷湯屋谷で「青製煎茶製法」を考案したことに始まります。

17 採茶（さいさ）の景観
茶摘（採茶）は、新芽を摘む作業。

18 宇治上神社
世界文化遺産の本殿が現存する最古の神社建築。

19 宇治神社
宇治神社は、1868年（明治元年）に宇治七郷の総氏神として創建。

◆宇治茶の近代景観（明治～昭和）

20 宇治茶 ブランド確立期
大規模な山林の開墾と茶園の造成が進められ、茶園面積が飛躍的に拡大。

21 宇治茶 ブランド確立期
近代に入り、宇治茶のブランド確立期。

22 宇治茶 ブランド確立期
宇治茶のブランド確立期。

23 宇治茶 ブランド確立期
宇治茶のブランド確立期。

24 石寺（いしでら）・白砂（しらすな）・茶問屋
石寺地区は、宇治茶の集散地として栄えた町並み。

25 茶業（ちゃぎょう）組合
宇治茶の品質向上と販売促進のために設立された組合。

26 茶業関係者の碑
宇治茶の発展に尽力された茶業関係者の顕彰碑。

◆水と暮らしの文化

1 高倉神（たかくらじん）社（高倉神社）
高倉神社は、宇治七名家の一つ。

2 高倉神（たかくらじん）社（高倉神社）
高倉神社は、宇治七名家の一つ。

3 大吉山（だいきちやま）の水辺景観
大吉山は、宇治七名家の一つ。

4 伊勢田（いせだ）の水辺景観
伊勢田は、宇治七名家の一つ。

5 蔀屋（しとみや）北（きた）遺跡
蔀屋北遺跡は、宇治七名家の一つ。

6 近江八幡（おうみはちまん）の水郷
近江八幡は、宇治七名家の一つ。

7 神崎（かんざき）川（がわ）
神崎川は、宇治七名家の一つ。

8 五箇庄（ごかしょう）の水車
五箇庄は、宇治七名家の一つ。

9 太閤（たいこう）堀（ぼり）
太閤堀は、宇治七名家の一つ。

10 巨椋池（おぐらいけ）干拓地（かんたくち）と農地
巨椋池は、宇治七名家の一つ。

11 世界及び日本国八角堂跡
福井県立歴史博物館

滋賀 Shiga

琵琶湖とその水辺景観
－祈りと暮らしの水遺産

古来より親しまれ、病を癒すと記されてきた水。その水を豊かに湛えて悠久に輝く琵琶湖の周囲では、「水の浄土」の教主・阿弥陀仏が広く信仰され、建立された寺社は今日も人々への信仰を集めています。また、日常生活には山の水や湧き水を使いながら、水を汚さない「暮らしの文化」が現在も伝わっています。さらに湖辺の集落や湖中の島では、米と魚を活用した独特な食文化や、エリなどの伝統的漁法が育まれてきました。古くから長寿や健康の象徴と取り上げられてきた琵琶湖と水辺は多くの生き物を育み、水と人の営みが織りなした文化的景観は現代人を驚きつけて止みません。ここ滋賀には、日本人の高度な「水の文化」の歴史が集積されているのです。

◆日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会◆
http://ja.multilingual.biwako-visitors.jp/japan-heritage

◆水と暮らしの文化

11 比叡山（ひえいざん）延暦寺（えんりゃくじ）
延暦寺は、最澄（伝教大師）によって、788年に比叡山に開かれた天台宗の総本山です。

12 園城寺（おんじょうじ）（三井寺）
天智、天武、持統の3代に亡き皇族に祈りのために建立された寺院。

13 日吉大社（ひよしたいしゃ）
「日吉山王権現」と称され、全国に約3,800社ある日吉・山王神社の総本社。

14 西教寺（さいきょうじ）
滋賀県下で唯一の天台宗尼寺。

15 宇曽野神社（うそのじんじゃ）
宇曽野神社は、平安時代の貞観年間（859～877）に創建されたと伝えられる古社です。

16 白髭神社（しらひげじんじゃ）
白髭神社は、琵琶湖に突き出た白髭の地に鎮座。

17 シコブチ信仰（しこぶちしんこう）
奥琵琶湖周辺は、修験者や木地師たちが開いた地域であり、シコブチ信仰（しこぶちしんこう）は、木地師の守護神として信仰されてきました。

18 醒井養鱒場（さめがいようそんじょう）
醒井養鱒場は、明治20年（1887）に設立された、日本で最も古い歴史を持つ養鱒場です。

19 伊吹山（いぶきやま）麓湧水地（ろくすいち）
伊吹山には古くから多くの湧水があり、地元では飲料水や農業用水として利用されてきました。

20 醒井（さめがい）宿（しゅく）
醒井宿は、中山道69次の宿場の一つ。

21 醒井（さめがい）宿（しゅく）
醒井宿は、中山道69次の宿場の一つ。

◆水と食文化

22 醒井（さめがい）養鱒場（ようそんじょう）
醒井養鱒場は、日本で最も古い歴史を持つ養鱒場です。

23 醒井（さめがい）宿（しゅく）
醒井宿は、中山道69次の宿場の一つ。

24 醒井（さめがい）宿（しゅく）
醒井宿は、中山道69次の宿場の一つ。

25 醒井（さめがい）宿（しゅく）
醒井宿は、中山道69次の宿場の一つ。

26 醒井（さめがい）宿（しゅく）
醒井宿は、中山道69次の宿場の一つ。

【平成27年度歴史 日本遺産】